



1学年だより

2022. 5. 30

第 3 号

2年次選択必修科目決定へ

5月25日(水)6限LHRにて2年次選択必修科目説明会を行いました。1年次は『芸術』で「音楽Ⅰ」・「美術Ⅰ」・「書道Ⅰ」のいずれかを選択し履修していますが、同じ『芸術』の中での選択でしたし、その道で人生を切り拓こうとしている人以外にとっては、何を選択してもあまり影響はなかったはずですが、しかし、来年は『地理歴史』の「日本史探究」、理科の「物理」・「生物」の3科目(いずれも3単位)の中から1科目を選択し履修することになり、その選択が3年次の科目選択や進路選択にも大きく影響します。自分の好き嫌い、得意不得意はあるでしょうが、何よりも自分の進路目標達成のためには何を選ぶべきなのか、よく考えてください。また、進路の問題は自分一人の問題ではなく、保護者や家庭の理解なしには進められない部分がありますので、この機会に保護者とじっくり話してみてください。希望調査票の提出は6月21日(火)までとなっています。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



もうすぐ 体育祭 6月8日(水)!

赤青黄3つの団対抗による体育祭が間もなくやってきます。各団ともリーダーをはじめ各種目の選手が決まり、それぞれに工夫を凝らしたクラスTシャツやパネルの準備も着々と進んでいるようです。5月25日(水)からは団ごとのダンスパフォーマンスの練習も始まりました。中間テスト終了後から3年生のリーダー達はアイデアをねって準備し練習を始めていました。みなさんはまだ1年生ですから先輩の後についていくので精一杯でしょうが、やる以上はどの団も競技だろうがダンスだろうがパネルだろうが優勝めざしてがんばってください!また、来年・再来年は自分達を中心になって下級生をリードしていかなければならないのだということを意識して、先輩達のやり方のいいところと悪いところをきちんと分析して、今後に生かすという気持ちも大切だと思います。なお、運動部の生徒の中には県総体直前という人もかなりいるでしょう。切り換えをしっかりと、部活動がおろそかにならないよう注意してください。

衣替え …… 身だしなみ・自分の行動のチェックを!

6月1日は全国的に衣替えです。本校ではその年の天候や個人の体調を考慮し、前後1週間程度を移行期間としています。天候と体調をよく判断し、快適に学校生活を送れるよう準備・調節してください。

なお、この機会に自分の身だしなみについて、きちんとできているかどうか反省してみましょう。保護者の皆様にも、ぜひともお子様の身だしなみについて確認し、指導していただきたいと思います。身だしなみの乱れは、それひとつでその人の「中身」まで見えてくるもの



です。「決まりが守れずいい加減で浮^うついた生徒」といったところでしょうか。しかも、怖いのは一部のそういった生徒の行動が「常盤高校は……」「常盤の生徒は……」というように学校全体の評価につながりがちなことです。私たちの学校がそんなふうに思われることはとても悲しいことです。

中間考査 終わる

5月16日と17日の2日間で中間考査を行いました。保護者の皆様には近日中に生徒を通じて中間考査成績個票をお届けします。6月末からは期末考査があります。今回の結果をきちんと振り返り、次の考査に向けた自分の学習について改善していく点はないか見直してみましょう。

また、4月7日に実施した「スタディサポート」の結果も返却しました。入学時点での各自の学力・学習状況と取り組むべき課題が示されています。高校での学習のレベルアップのためにぜひ活用してください。

PTA総会 書面審議終わる

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、昨年につき書面審議となったPTA総会ですが、保護者の皆様の議決権行使書を集約した結果、事業報告・決算、事業計画・予算、役員等 全議案とも原案どおり承認されました。あらためて、今年度の活動について、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

6月の主な行事予定

- 1日(水) 屋外清掃
- 2日(木) T456
- 7日(火) 2限まで5分短縮授業、体育祭予行(3限から)
- 8日(水) 体育祭(9日・10日 予備日)
- 12日(日) 学校閉鎖
- 17日(金) T456
- 21日(火) 職員会議
- 22日(水) 生徒指導講話(6限)
- 24日(金) T123
- 30日(木) ~7月5日(火) 期末考査



6月は古くは水無月(みなづき)といました。水が無いということではなく、「みなづき」の「な」は「の」の意味で、逆に「水の月」= 田に水を引く月という意味だそうです。「無」はいわゆる当て字ですね。実は10月の神無月(かなづき)の「な」も同じで、本来「神の月」= 収穫を終えて神をまつる月という意味だそうです。「国中の神様が出雲に集まるので……」というのは中世(鎌倉・室町)頃に生まれた俗説だそうです。そのほか 眼(まなこ)や港(みなと)の「な」も同じで、目の子(中心)、水の門(出入口)です。

ちなみに、「くだもの」「けだもの」の「だ」も古代日本語で「の」の意味で、「木のもの・毛のもの」だそうです。

進路希望調査の結果から

高校入学後初めての進路希望調査が行われました。次のような結果となっています。自分の新たな可能性に気づいたり、興味関心が変わったりということで目標が変わることはあるかもしれませんが、単なる努力不足から目標を下方修正するしかないということにならないよう気をつけたいものです。そのためにも、日々長い目で自分の人生やライフスタイルを意識しながら、高校生活を送ってほしいと思います。こんな仕事に就きたい、あの大学に入りたいと口で言うのは簡単ですが、それを実現するには必ず苦勞が伴います。最後に英語の格言をひとつ。「No pain, no gain.」

		男子	女子	計
進学	国公立大学	12	6	18
	私立大学	18	16	34
	短期大学	2	6	8
	専門学校等	10	38	48
就職	民間・公務員	5	5	10